

<入学式式辞>

秋保の山々の緑が雨に洗われ輝きを増し、生命の息吹を感じるこの良き日に、たくさんの方々のご理解とご協力のもと、このような形で第74回入学式を挙行できますことを、心から感謝申し上げます。

16名の新入生の皆さん、並びに保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。未来への希望と可能性にあふれる新入生を、本日迎えることができましたことは、私達教職員にとっても大きな喜びです。

さて、新入生の皆さん、突然の臨時休校をどのように過ごしていましたか。外出を制限される中で、毎日の生活リズムを整え、学習時間を確保するのは大変だったことでしょう。

秋保中学校では、毎日一斉配信メールなどを利用して生徒の皆さんと連絡を取り合ってきました。また、校舎内の掃除やワックスがけをして、新学期の準備をしてきました。困難なことにはぶつかったときに、「できない」と嘆くのではなく「今何をすべきか。何ができるのか。どうすればできるのか」を考え、前を向くことが大切です。昨日行われた花火プロジェクト、全国で打ち上げられたシークレット花火が多くの人達を励ましました。秋保中学校の先輩達は、明るく元気に、いろいろなことにチャレンジし、お互いを応援し、支え合いながら、仲間を大切にしています。このように、周りのために何ができるのかを優先する雰囲気からは、いじめは絶対に生まれません。

新入生の皆さんにとって、これから始まる中学校生活は、子供から大人へと心も身体も大きく成長する大切な時期です。この三年間の頑張りが、皆さんの将来を支える礎となります。勉強はもちろん、部活動、委員会活動、学校行事等の中で、自らを鍛え、自信を持って様々なことにチャレンジしていきましょう。そして、お互いが助け合い、協力し、喜びや悲しみを分かち合うことの尊さを、学校生活を通して学んで欲しいと思います。

秋保中学校は、今までの実績が認められ、国連からユネスコスクールに認定されることになりました。ユネスコ精神に則り、SDGs「持続可能な開発のための目標」として、秋保の良さを大切に、文化芸術とものづくりの魅力を学習に取り入れています。キャリアインターンシップでは、地域で活動する様々な職種の人達の生き方に直接触れ、自らの意志で進路を選択できる力を育みます。これらの活動を通して新入生の皆さんにも中学校三年間で、「ふるさと秋保」に誇りを持ち「秋保の魅力、秋保の良さ」を発信できるようになってもらいたいと思っています。

保護者の皆様、中学校の三年間、子供達は、大人へと成長する過程で、親離れしようともがき、苦しみ、悩むこともあるかと思えます。我々教職員も保護者の皆様と同じように子供たちに真剣に向き合い、自立に向けた成長を第一に、日々取り組んで参ります。保護者の皆様の期待と信頼に応えられるよう、そして、新型コロナウイルス感染対策に努めながら、教職員、心を一つにして責任を持ってお子様をお預かりいたします。どうかこの間、本校の教育活動に深いご理解と力強いご支援をお願いいたします。

結びになりますが、ご参列いただきました方々の、ご健康とご多幸を祈念申し上げ、式辞といたします。

令和2年6月2日

仙台市立秋保中学校 校長 千葉 慎